

平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 第一カッター興業株式会社  
 コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 広瀬 俊一  
 (氏名) 小池 保

TEL 0467-85-3939

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	6,865	10.7	536	△5.5	590	△1.7	354	△0.8
24年6月期第3四半期	6,203	11.1	567	115.5	600	128.9	357	158.3

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 358百万円 (△5.2%) 24年6月期第3四半期 378百万円 (155.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	124.66	—
24年6月期第3四半期	124.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第3四半期	6,325	4,804	75.2	1,671.30
24年6月期	6,227	4,499	71.1	1,556.72

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 4,756百万円 24年6月期 4,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,404	4.1	381	△20.8	431	△17.7	241	△24.9	84.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期3Q	3,000,000 株	24年6月期	3,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年6月期3Q	153,946 株	24年6月期	153,946 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期3Q	2,846,054 株	24年6月期3Q	2,863,360 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるなか、政権交代による景気対策の方針や構造改革の期待などから円安基調、株価回復傾向が見られるものの、長期化する海外経済減速の影響により輸出や設備投資が減少するなど、依然として先行き不透明な状態で推移いたしました。

建設業界におきましては、公共投資は震災復興関連需要を背景に堅調に推移し、また民間投資も一部に緩やかな回復の動きが見られたものの、受注競争の激化や労務費の高騰等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下で、当社グループは東日本大震災における被災地の復旧・復興支援に尽力する一方、新規顧客の開拓や材料費等のコスト削減にも取り組み、その結果、グループ全体の売上高は6,865百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。しかしながら第1四半期に取り組んだ大型工事において、環境対策費を多額に計上した影響により、営業利益は536百万円(前年同四半期比5.5%減)、経常利益は590百万円(前年同四半期比1.7%減)、四半期純利益は354百万円(前年同四半期比0.8%減)となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、売上高は第1四半期(7月～9月)・第4四半期(4月～6月)に減少し、第2四半期(10月～12月)・第3四半期(1月～3月)に増加いたします。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## (切断・穿孔工事業)

切断・穿孔工事業につきましては、耐震補強関連工事、高速道路補修関連工事、発電所改修関連工事、橋脚補修関連工事及び電鉄補修関連工事等の強化・市場拡大に努めました。その結果、切断・穿孔工事業の完成工事高は6,735百万円(前年同四半期比9.7%増)となりました。

## (ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、前期に引き続き新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、完成工事高は93百万円(前年同四半期比54.0%増)となりました。

## (その他)

前連結会計年度から開始いたしましたリユース事業につきましては、第1四半期連結会計期間において本格的に営業活動を開始いたしました。その結果、売上高は36百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し、6,325百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ206百万円減少し、1,521百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ304百万円増加し、4,804百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は75.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月14日に発表しました第2四半期決算短信の業績予想から変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	
税金費用の計算	税金費用の計算について、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。	

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,075,170	1,644,019
受取手形・完成工事未収入金	1,607,859	2,010,629
未成工事支出金	73,423	58,575
商品	—	106
材料貯蔵品	51,746	48,916
繰延税金資産	38,192	38,192
その他	48,842	67,669
貸倒引当金	△16,166	△18,866
流動資産合計	3,879,068	3,849,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	389,854	495,135
減価償却累計額	△180,502	△198,399
建物及び構築物(純額)	209,351	296,736
機械装置及び運搬具	1,852,241	1,979,584
減価償却累計額	△1,505,346	△1,605,024
機械装置及び運搬具(純額)	346,894	374,559
工具、器具及び備品	67,338	83,403
減価償却累計額	△59,095	△64,973
工具、器具及び備品(純額)	8,242	18,430
土地	1,263,614	1,318,012
建設仮勘定	73,091	630
有形固定資産合計	1,901,195	2,008,367
無形固定資産	17,700	15,790
投資その他の資産		
投資有価証券	108,343	124,486
繰延税金資産	173,566	173,566
その他	156,671	163,100
貸倒引当金	△8,917	△8,555
投資その他の資産合計	429,664	452,597
固定資産合計	2,348,559	2,476,756
資産合計	6,227,628	6,325,999

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	382,389	416,939
短期借入金	14,316	44,316
未払法人税等	237,298	97,806
賞与引当金	25,420	107,680
その他	558,712	360,126
流動負債合計	1,218,135	1,026,867
固定負債		
長期借入金	86,363	75,626
退職給付引当金	360,811	349,922
役員退職慰労引当金	57,639	64,493
負ののれん	228	—
資産除去債務	4,561	4,613
固定負債合計	509,603	494,655
負債合計	1,727,739	1,521,523
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	465,100	465,100
利益剰余金	3,617,085	3,943,185
自己株式	△121,985	△121,985
株主資本合計	4,430,499	4,756,599
少数株主持分	69,388	47,876
純資産合計	4,499,888	4,804,476
負債純資産合計	6,227,628	6,325,999



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高		
完成工事高	6,203,017	6,829,003
商品売上高	—	36,712
売上高合計	6,203,017	6,865,716
売上原価		
完成工事原価	4,370,237	4,969,907
商品売上原価	—	24,891
売上原価合計	4,370,237	4,994,798
売上総利益		
完成工事総利益	1,832,779	1,859,095
商品売上総利益	—	11,821
売上総利益合計	1,832,779	1,870,917
販売費及び一般管理費	1,265,082	1,334,552
営業利益	567,696	536,365
営業外収益		
受取利息	55	297
受取保険金	3,541	3,674
受取家賃	595	13,950
負ののれん償却額	684	228
持分法による投資利益	11,323	18,542
雑収入	17,690	31,725
営業外収益合計	33,888	68,418
営業外費用		
支払利息	1,236	1,121
売上債権売却損	18	82
不動産賃貸原価	—	9,699
雑損失	140	3,645
営業外費用合計	1,396	14,549
経常利益	600,189	590,234
特別利益		
固定資産売却益	85,152	1,962
償却債権取立益	127	—
特別受取保険金	24,820	530
保険解約返戻金	6,109	—
役員退職慰労引当金戻入額	15,595	—
負ののれん発生益	—	8,981
特別利益合計	131,803	11,474

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
特別損失		
固定資産売却損	5,660	124
固定資産除却損	703	1,276
和解金	30,000	—
減損損失	16,238	18,802
特別損失合計	52,602	20,204
税金等調整前四半期純利益	679,390	581,504
法人税等	300,796	222,756
少数株主損益調整前四半期純利益	378,594	358,748
少数株主利益	20,782	3,948
四半期純利益	357,811	354,800

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	378,594	358,748
四半期包括利益	378,594	358,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	357,811	354,800
少数株主に係る四半期包括利益	20,782	3,948

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
(単位：千円)

	報告セグメント		
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	6,142,004	61,013	6,203,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	6,142,004	61,013	6,203,017
セグメント利益又は損失(△)	1,017,276	△10,732	1,006,544

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主な内容(差異調整に関する事項)  
(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,006,544
のれん償却額	△313
全社費用(注)	△438,533
四半期連結損益計算書の営業利益	567,696

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ビルメンテナンス事業」セグメントにおいて、16,238千円の固定資産減損損失を計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナンス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,735,042	93,961	6,829,003	36,712	6,865,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,735,042	93,961	6,829,003	36,712	6,865,716
セグメント利益又は損失(△)	982,915	△5,111	977,803	△7,810	969,993

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、前連結会計年度より事業を開始いたしましたリコース事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	977,803
「その他」の区分の損失	△7,810
のれん償却額	△313
全社費用(注)	△433,314
四半期連結損益計算書の営業利益	536,365

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「切断・穿孔工事業」セグメントにおいて、18,802千円の固定資産減損損失を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。